

第900号

令和6年9月4日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

OLYMPICS



言葉の力

佐渡市立両津小学校

校長 後藤 修治

2024年夏のパリオリンピック、連日、日本選手の活躍が報じられました。その中でも、私は体操男子団体の大逆転金メダルが心に残っています。最終種目の鉄棒を残し、順位は1位中国に大差をつけられての2位。逆転は、ほぼ不可能かと思われました。鉄棒の最終演技者は、ここまで絶不調の橋本大輝選手でした。しかし、橋本選手はここで最高の演技を見せます。中国選手の失敗も重なり、奇跡の大逆転となったわけです。

試合後橋本選手は、「仲間が『まだまだいける、あきらめるな。』と声をかけてくれたおかげで最後まであきらめず演技ができた。」とコメントしていました。

言葉がけは一瞬です。その一瞬で人を勇気付けたり励ましたりポジティブな気持ちにさせることができます。当然その逆もあります。



2学期のスタートに当たり、子どもたちをポジティブにさせる言葉がけをたくさんしていきたいと思っています。

がんばれ!

楽しんでやればいいんじゃない

子どものお弁当作りで「明日早起しなきゃ。面倒くさい。」と心の方が漏れた時に、夫が私に言った言葉である。どうやら、お弁当作りを楽しみな趣味にしてしまえば、気持ちの持ちようなんだから、苦労ではなくなるだろうと、ポジティブ助言をしてくれたようである。だったら、あなたがお弁当作りを楽しむ大人になればと思うが、それは未だに実現してはいない。そして結局、ポジティブ変換できない私がブツブツ言いながら作るのであるが、今後の意欲向上のためには、助言ではなく慰労と褒めがほしかった。

はて、そう考えると大人も子どもも変わらない。がんばって勉強したときは「楽しんでやればいい」でなく褒めて慰労してほしいのかもしれない。そして、私も子どもも、一言もらうとすれば「楽しんで一緒にやろう」がいい。特に言葉の練習は、正しい音を正しく聞き取ることからはじまる。ぜひぜひ「一緒に会話を楽しんで」ほしい。もちろん、お互い褒め合い、慰労し合いながら。



(坂井直子)



「わたしの『ふつう』とあなたの『ふつう』はちがう」

当教室に通う保護者の方から、「『周りの子どもたちは、普通に○○しているのに、Aさん（自分の子）はうまくできない』と言われることがあります、自分の子は普通ではないのか」というような、悩みをお聞きすることがあります。

「わたしの『ふつう』とあなたの『ふつう』はちがう。それをわたしたちの『ふつう』にしよう」

これは、愛知県 2016 年度人権啓発ポスターのキャッチコピーです。「多様な価値観を受け入れて、互いを認め合うきっかけになってほしい」という思いで制作されたそうです。

学校現場において「大多数」の考え方や行動の仕方が「普通」に捉えられていると感ずることがあります。「普通はみんなと同じように行動できるよね」、「普通は、平仮名の読み書きはできるよね」など、周りの子どもたちと比べ、心ない言葉を使ってしまう場合があります。10 人いれば、10 の考え方や行動があり、「個」です。大多数の中に入れられてしまう子の中には、「自分は何の取り柄もない」と悩む子もいます。「個」のよさは、人それぞれ。「個」には違いがあることを「ふつう」にしませんか。（椿 由紀子）

夏季言語検査を行いました

島内の保育園・幼稚園・こども園の年長児を対象に、言語検査を行いました。更に詳しい再検査をおすすめする方には案内をお渡ししました。

再検査は随時受け付けています。お気軽にお申し込みください。

有意義な情報交換ができました

夏季休業中に、通級児童生徒の担任の先生との情報交換会を行いました。日頃の学校での様子を直接お伺いすることができました。今後の指導にいかしていきます。ありがとうございました。



親の会コーナー



「個性で良いと思うが」

小学生保護者



幼い頃は、限られた語い力の中でのやりとりだった為に子どもが言わんとする言葉が想像でき、円滑にコミュニケーションがとれていました。しかしながら、年長、小学校と上がるにつれ増えていく語い力に、親の想像外の言葉や発音が不明瞭なことが重なり、円滑にコミュニケーションがとれなくなった様に感じて子どもの伝えたい気持ちを直ぐに理解してあげることが難しくなってきました。

私としては発音が不明瞭でも吃音でも、子どもの個性であってあまり気にしていなかったのですが、他人とのコミュニケーションで本人のストレスになっていくのであれば、やはり改善に取り組んでスムーズに気持ちや思いを伝えられるようになるのは大事なことでと考えています。

第2回 親の会学習会予定！

- ・多様性を受け入れる共生社会の在り方について（講演）
- ・島内関係機関の方を招いてのパネルディスカッション

○日時：11月 23 日（土） 9:30～ 会場：金井小学校

○講師 小川 修史様（兵庫教育大学教授）

詳細は後日
チラシで
ご確認ください。

小川 修史教授の紹介

・研究はインクルーシブ教育を主な対象領域とし、教育工学の側面からアプローチを試みる（兵庫教育大学HPより）